

金足農高1年生175人 泥んこ田植え 楽しいな



秋田市の金足農業高校（工藤雅文校長）の1年生175人が、学校裏の実習田で田植えの苗を植え付けた。

泥に足を取られながら手植えをする生徒

生徒たちは素足で水田に入ると「ぬるぬるする」「冷たい」などと声を上げた。泥に足を取られて転び、泥だらけになる生徒もいるなど、終始にぎやかな雰囲気だった。

吉田陽月さん（15）は「初めて手植えをして楽しかった」、豊嶋光政さん（15）は「農家の苦労とすごさを知った」と振り返った。

生徒による田植えは、勤労の尊さを学び、自然の恵みに感謝する豊かな心を育てようと、毎年行われている。今年ほど、24日に実施した。（安部聖美）